



# 日南ロータリークラブ



~NICHINAN ROTARY CLUB since 1954~

よいこのために手を繋ぎあおう

2025-26年度クラブスローガン「臥薪嘗胆」

## WEEKLY REPORT No.23

第 3450回 例会		開催日：2026年1月14日（水）	点鐘18:30
国歌		会員数	33 MU 3
ロータリーソング	奉仕の理想	出席免除	8(6) 欠席 3
4つのテスト	石灘 寛樹 君	HC出席	21 出席 24
ゲスト		出席率	88.88% 先取MU 松田、峰松、村社、
		出席免除	落丸、清水、渡邊、日高、野崎、小玉
ビジター		欠席者	稲垣、榎木田、竹井（崇）
例会行事	クラブ協議会		

### 会長時間（斎藤篤史会長）

本日は今月のロータリー月間である職業奉仕月間についてお話ししたいと思います。職業奉仕とは、目に見える善行や称賛を求めることではなく、日々の仕事の中で、誠実さを選び続ける姿勢そのものです。誰かに褒められなくても、記録に残らなくても、自分の仕事に責任を持ち、社会と正直に向き合うこと。その積み重ねこそが、職業奉仕の本質だと考えます。「日々の仕事そのもの」が奉仕である。この考え方は、実はとても厳しく、そして深いものです。ロータリーの五大奉仕の中で、職業奉仕ほど説明が難しいものはありません。社会奉仕や国際奉仕は、「何をしたか」が目に見えます。しかし職業奉仕は違います。職業奉仕は、決して目立つものではありません。日々の仕事の中に溶け込んでいるため、周囲から気づかれることも少なく、意識していなければ、評価されることさえほとんどありません。また、職業奉仕は数字で測れるものでもありません。売上や件数、成果のように分かりやすく表れるものではなく、帳簿に残ることも、報告書に書き込めるものでもありません。それでも、目立たず、評価されにくく、数字にもならないその姿勢が、時間をかけて「信用」となり、やがてその人の仕事を支える土台になっていきます。職業奉仕とは、評価を求めず、数字を追わず、それでも誠実であろうとする生き方なのだと思います。それでもロータリーは、職業奉仕を奉仕の中心に据えています。なぜか。それは、社会は“仕事”によって成り立っているという、極めて現実的な考え方があるからです。ロータリーが生まれた時代、集まったのは弁護士、医師、商人、技術者など、それぞれの現場で働く人たちでした。彼らが問いつけたのは、「自分の仕事は、社会にとって役立っているか」

るのか」という一点です。職業奉仕とは、仕事を通して社会と誠実に向き合うこと決して理想論ではなく、現実の中での覚悟を求める考え方です。職業奉仕という言葉を聞くと、「立派で、人格者で、非の打ちどころのない人」そんなイメージを持ちがちです。しかし実際の仕事は、違います。仕事の現場に立っていると、私たちは常に、迷いの中にいます。どの選択が正しいのか、どこまで踏み込むべきなのか、即座に答えが出ない場面は少なくありません。そこには、必ず葛藤があります。理想と現実、誠実さと効率、長期的な信用と目先の判断。どれか一つを選べば、どれかを犠牲にせざるを得ない。仕事とは、そうした葛藤の連続です。さらに、仕事には利害が伴います。自分の立場、相手の事情、会社の都合、周囲の期待。誰かにとって良い判断が、別の誰かにとっては不都合になる。その狭間で、私たちは決断を迫られます。そして、そのすべての上に、プレッシャーがあります。結果を出さなければならないという重圧、失敗が許されないという不安、期待に応えなければならないという責任。職業奉仕とは、こうした迷い、葛藤、利害、プレッシャーが存在する現実の中で、それでも誠実さを手放さない選択を重ねていくことなのだと思います。職業奉仕とは、迷わないことではありません。迷いながらも、「ごまかさない」「逃げない」その選択を重ねることです。仕事の現場には、常に判断の分かれ道があります。ほんの少し説明を省いてしまうか、それとも手間をかけて丁寧に伝えるか。気づいていながら、見て見ぬふりをして通り過ぎるか、立ち止まって向き合うか。「今回だけなら」と妥協してしまうか、それとも自分に厳しい判断を選ぶか。どれも、大きな問題として表に出ることは少ない選択です。しかし、こうした小さな判断の積み重ねが、知らず知らずのうちに、その人の仕事の姿勢を形づくっていきます。派手な成果や目立つ行動ではなく、誰も見ていない場面での選択こそが、その人の仕事の価値を決めているのだと思います。職業奉仕とは、誰も見ていない場面での選択にこそ現れます。四つのテストは、決して理想論ではありません。むしろ、苦しいとき、迷ったとき、利益と誠実さがぶつかるときにこそ使うための言葉です。真実かどうかみんなに公平か好意と友情を深めるかみんなのためになるかどうかこの問いを立てること自体が、すでに職業奉仕です。正直に言えば、誠実な判断は、短期的には損に見えることがあります。利益を逃す、手間が増える、時間がかかる、それでも職業奉仕が成立するのは、信用は時間をかけてしか築けないという真実があるからです。長く仕事を続けてきた人ほど、「結局、信用がすべてだった」そう口にされることがあります。技術や知識、そして経験。仕事を重ねる中で身につけてきたそれらは、確かに大切な財産です。しかし、それだけでは仕事は続きません。それらすべてを支えているのは、「この人なら任せられる」そう思ってもらえる信用です。どれほど優れた技術があっても、どれほど豊富な知識や経験があっても、信用を失えば、仕事はそこで止まってしまいます。職業奉仕とは、その信用を裏切らない姿勢を、日々の仕事の中で選び続けることだと思います。ロータリークラブは、職業の異なる人の集まりです。それぞれが、それぞれの現

場で誠実に仕事をしてきたからこそ、この場で語り合える信頼があります。職業奉仕は、目立たないけれど、クラブの土台そのものです。職業奉仕とは、特別な行動を求めるものではありません。何か大きなことを成し遂げることで、人に見せるための善行を重ねることでありません。今日の仕事を、丁寧に行うこと。相手の立場に立って考え、言葉を選ぶこと。そして、都合の悪い場面であっても、ごまかさずに向き合うこと。そうした一つひとつの姿勢は、目立つこともなく、評価されにくく、数字として表れることもありません。しかし、その積み重ねが、確実に社会を静かに支えています。職業奉仕とは、派手さのない日常の仕事の中で、誠実さを選び続ける生き方そのものだと思います。職業奉仕月間にあたり、それぞれが自分の仕事の姿勢をあらためて見つめ直す機会になればと思います。

### 幹事報告（菊池希樹幹事）

1. 高鍋 RC 創立 50 周年記念式典ならびに祝賀会の案内が届いております。
2. 都城西 RC 創立 50 周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております。
3. 宮崎中央 RC 創立 40 周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております。
4. 第 4 回奉仕プロジェクト部門勉強会（Zoom）のご案内が届いております。  
令和 8 年 2 月 16 日 18 時より開催です。
5. 公共イメージ向上セミナー開催のお知らせが届いております。  
令和 8 年 2 月 8 日 13 時 30 分より道の駅都城 NIQLL 多目的室にて開催です。
6. 2025-26 年度中部・南部グループ合同 IM（都市連合会）開催のご案内が届いております。令和 8 年 3 月 8 日シーガイアコンベンションセンターにて開催です。

### スマイル

斉藤篤史君：インフルエンザ B に罹ってしまいました。スマイルします。

石灘寛樹君：61 才になりました石灘です。今月 10 日に 5 年ぶりに飢肥の十日えびす祭りが復活しました。お礼お要りようの方、教えてください。

※点鐘後、クラブ協議会開催。各委員会より前期活動報告があり全会一致で承認。



日南 RC 事務局	〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2階 創客創人センター内
	TEL：0987-22-3363 FAX：0987-22-3515
2025-2026 年度	会長：斎藤篤史 副会長：入中英雄 幹事：菊池希樹 雑誌広報委員長：西島元利
	例会：毎週水曜日 12:45~13:30 会場：ホテルシーズン日南（TEL：0987-22-5151）
※例会内でお話いただいた内容の原稿は <a href="mailto:soumu-nishijima@aisenkai-nichinan.jp">soumu-nishijima@aisenkai-nichinan.jp</a> まで送信ください。	